

実盛

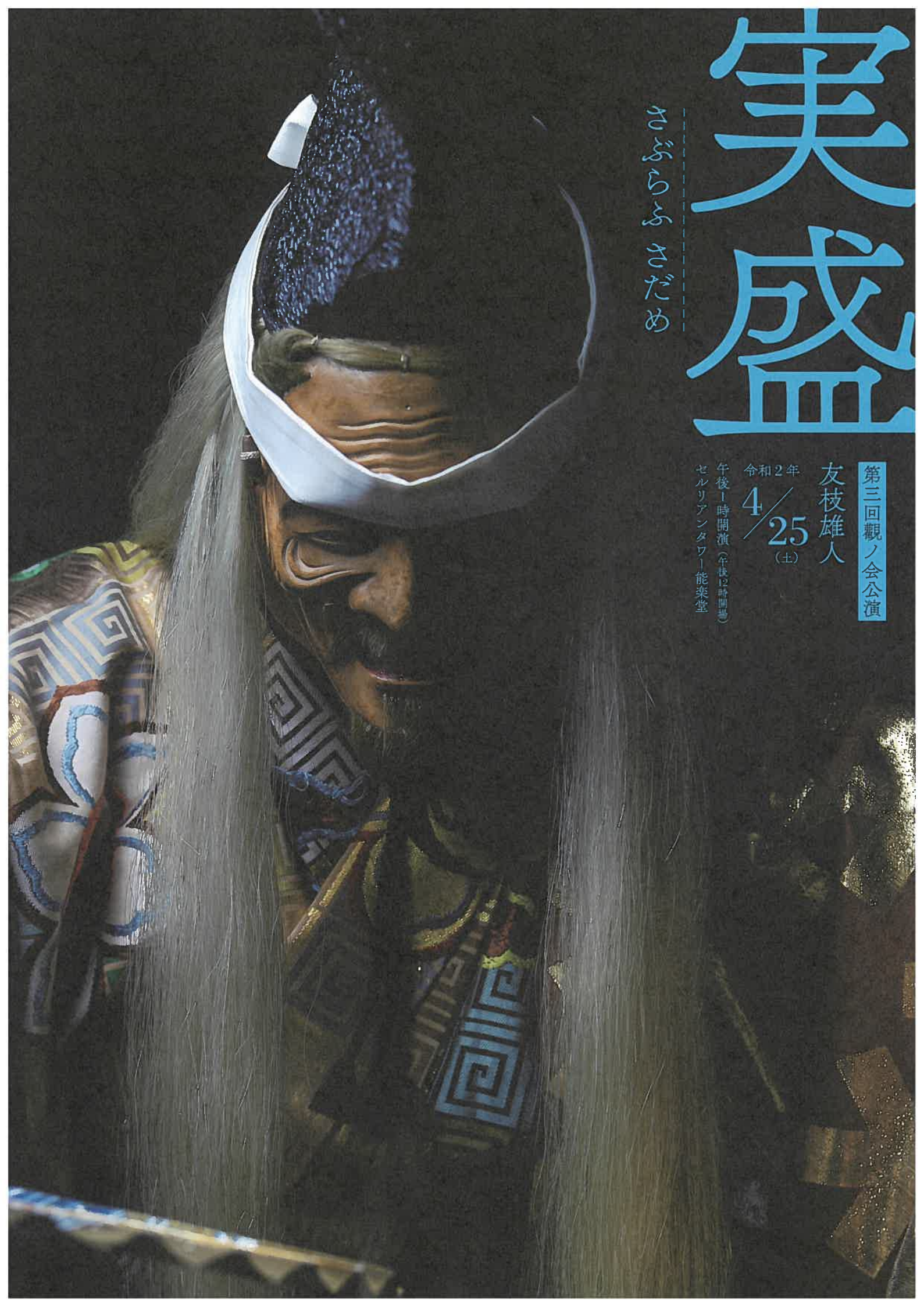
たけなすのついでめ

第三回観ノ会公演

友枝雄人

令和2年
4/25
(土)

午後1時開演（午後12時開場）
セルリアンタワー能楽堂



実盛

さぶらぶさだめ

第三回観ノ会公演

友枝雄人

令和2年
4/25
(土)

午後1時開演(午後12時開場)
セルリアンタワー能楽堂
16時半頃終了

観ノ座 [13:00~14:00]

演能の前に、能「実盛」の魅力、
見どころを多彩な角度から解説します

【実盛と時宗】

高桑いづみ
(東京文化財研究所特任研究員)

高橋悠介
(慶應大学斯道文庫准教授)

「実盛」の詞章には、仏道や経文に関わる文言が数多く登場します。また、ワキの遊行上人率いる時衆は、往生礼讃偈を誦しながら念仏を唱える僧伽(サンガ)として知られています。世阿弥がなぜ実盛の苦惱を癒す相手として時宗の僧を登場させたのか、上人と実盛の問答に潜むメッセージとは。能の謡や囃子の研究者高桑いづみ氏と、中世仏教等の研究者高橋悠介氏が、中世の人々の心のありように迫ります。

【さぶらぶ人々】

櫻井陽子
(駒澤大学文学部教授)

高橋秀樹
(國學院大学文学部教授)

実盛は当初、源氏方の武将でしたが、最後は平家の武将として終わります。彼の人生は、源氏と平家の運命に深く関わるものでした。それは、能「実盛」において自らが語る討死の場面に、木曾義仲をはじめとする様々な人物が登場することにも表されています。実盛にとって「さぶらぶ」とは何だったのか。中世文学、特に、平家物語の研究者櫻井陽子氏と中世史の研究者高橋秀樹氏が、武者の生き様を解き明かします。

【配役】

前シテ/老人

後シテ/実盛の霊

友枝雄人

ワキ/遊行上人

大日方寛

ワキツレ/從僧

則久英志・野口琢弘

アイ/篠原の里人

高澤祐介

【囃子】

笛/一噌隆之

小鼓/成田達志

大鼓/谷口正壽

太鼓/林雄一郎

【地謡】

香川靖嗣

大村定

狩野了一

金子敬一郎

内田成信

佐々木多門

友枝真也

佐藤陽

【後見】

中村邦生

佐藤寛泰

【あらすじ】

作者 世阿弥

季節 仲冬(陰暦11月)

所 加賀国篠原

加賀国篠原で遊行上人が説法をしていた。多くの聴衆が集まっていたが、人々は上人が説法の前後に独り言をつぶやくのを不思議に思っていた。実は毎日のように老人がやって来て上人と会話をしていたのだが、その姿は上人以外には見えないのであった。ある日、上人が老人に名を名乗るように言うと、老人は逡巡した末に、かつてこの地の合戦で木曾義仲の軍に討たれた平家方の武将、斎藤別当実盛の幽霊であると明かし、池のほとりに消えていった。その夜、上人の前に錦の直垂、黄金の太刀飾りを身にまとった実盛の幽霊が現れ、最期の戦に臨んで髪を黒く染めて出陣したこと、手塚太郎との死闘の有様を語り、後世の弔いを頼みつつ消えていった。

【観ノ会冊子】

「観-III」を当日無料で配布いたします。

※「観-II」、「観-I」をご希望の方には各1冊500円にてお分けいたします。

チケット発売中

・料金(税込)

SS席 12,000円

S席 10,000円

A席 8,000円

B席 6,000円

栈敷席 4,000円

料亭金田中席 28,000円

(お食事と観能/
詳細はお問い合わせください)

・チケット申し込み:

友枝雄人事務局 03-5950-4543

「友枝家の能」HP お問い合わせ

<https://tomoeda-kai.com>

セルリアンタワー能楽堂

〒150-8512

東京都渋谷区桜丘町26番1号 B2F

TEL: 03-3477-6412 FAX: 03-3477-0190